



本社前ステッカー

こども110番の家

本社は「こども110番の家」が始まって以来、本社前が通学路に当たるためその指定を受けております。事務所なので子供も入りやすいのでしょうか、ほぼ毎日登下校時に色々な子供がやってきます。

一番多いのは「トイレ貸して下さい」、そして夏になると「水飲ませて下さい」と賑やかです。時々やって来るのが「こけて血が出た〜！」と泣きながらやって来ます。ここは病院ではないのですが、そんな子供たちのために消毒液とバンドエイドを常備して処置してあげます。

時には、トイレを使いながら礼も言わずに出て行く子供もいるので、そんな時には「トイレを借りたら何て言うかね？」と少々おせっかいをやいたり、目に余るときは叱ったりもしています。

そんな事もあります、成人した人が「小学生の時ゲイナンハウスにはいつも寄って良くして貰った」と言ってくると、少しは地元へ貢献できてるのかなと嬉しくなります。(啓)

★イベント案内★

①大竹ゆめタウンリフォームフェア

日程：7月27日(土)・28日(日) 10:00~16:00

恒例の、大竹ゆめタウンでリフォームフェアを開催します。もちろん、キッチン・トイレ・ユニットバスなど新商品も勢揃い！暑い中ですが、スタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしております。

②廿日市リフォームフェア

日程：8月31日(土)・9月1日(日) 10:00~17:00

恒例の、廿日市リフォームフェアを開催します。

今回はどんな企画か楽しみに。

お待ち
しています!



西村大竹店店長

廿日市店イベント大盛況



廿日市店2階は20人程の参加で熱気ムンムン!

廿日市店が宮内から現在の宮園1丁目に移転して早いもので7年。6月に移転しましたのでこの時期に周年のイベントを行っております。今年も網戸の張替に野菜の叩き売り、そして「ポーセラーツ」と言って真っ白なコップに様々な模様を貼り付け焼き上げると言う工芸の教室を行いました。

私も終わり頃に会場に行ってみると、皆さんお気に入りの模様をコップに貼り付け綺麗に出来上がっていました。一週間後には焼き上がって来るそうですが、皆さん本当に楽しそうに作品を見せてくれました。

最近廿日市店2階でのイベントが行われていけませんので、宮本店長にしっかりと企画してもらいますので、これからもお気軽に来店の程よろしくお願い申し上げます。(啓)

「住まいの困った」は
ゲイナンハウス
大竹店・廿日市店共に

フリー
ダイヤル

0120-505-375

ホームページ
アドレス

<http://www.geinan-house.co.jp>

最後までお読みいただき有難うございました、次回は10月の予定です。(啓)
*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



いつもお世話になっている皆様へ

住まいる通信

H25.7



河野

今年の梅雨も末期に入り、この住まいる通信を読んでいる頃には梅雨は明けているのでしょうか?鬱陶しい日々が続く、触るもの全てが湿気ているようですが、皆さんお変わりございませんでしょうか?

さて、上の写真は、朝のウォーキングの折に撮った写真で、私の地元大竹市の亀居城公園から見た瀬戸内海です。この亀居城は関が原の戦いで東軍の勝利に大いに貢献した武将「福島正則」が築城したものです。しかしながら、徳川と豊臣の軍事的衝突に際し、徳川からの意向で僅か3年で破却された幻のようなお城だったので。天守や主要な建造物は撤去され、城地はそのまま荒れるに任されていたが、1977年に発掘調査がなされ、徐々に修復が進み現在は亀居城公園として広く市民に親しまれています。

と、亀居城の歴史を振り返ってみると上記のような事ですが、築城した「福島正則」は家康の死後、広島城の修理を幕府に無断で行った事が武家諸法度に触れ、安芸・備後50万石を没収され、新潟へ減封されるという目に会っており、関が原の戦いで功績のある彼が、その程度の事でこんな目に会うとは、私から見ると「徳川さんあんまりじゃない?」と思ってしまう。「福島正則」は優れた歴戦の武将ではありましたが、幕府内の権力争いでは負けてしまったんですね。

このような彼の一生を垣間見たら、この亀居城が完成した時の「福島正則」は、この景色を天守閣からどんな思いで見ているのかと想像すると、なかなか感慨深いものがありますね。

やはり、人生何が起るか分らない。彼のような優れた武将でも、チョットしたミスからあのようになってしまう訳ですから、私のような凡人はどうしたら良いのでしょうか? 少なくとも、失敗やクレームには「言い訳」や「善後策を考える」前に、まず「誤る」そして「真摯に対応する」事ですかね。

さあ、暑い夏の本番です、しっかりと体調を整えて乗り切りましょう!(啓)



"じいちゃん"からのプレゼント "「子供室別棟増築」現場報告"

完成:外観



着工前:敷地内には広い空き地

大竹市での子供室を別棟増築した現場です。敷地内には、施主のK様夫妻の建物、そしてその息子さん家族の建物があります。二人のお孫さんも小学生(女の子と男の子二人)に成長しましたが、息子さんの住まいでは手狭なため、隣接する空き地に"じいちゃん"が子供室をプレゼントした次第です。

施主のK様は隣に住んでいるお孫さんを大層可愛がっておられ、今回増築した空き地には手作りのプランコもあったほどです。

増築した建物は片流れのシャープなデザインとし、南面に掃き出しを設けウッドデッキ(手作り)を設けています。片流れにすることで、室内にロフトを設け、お孫さんがワクワクするような室内となっています。将来、孫さんが成長されても間取りが変更できるような構造にしています。

さて、じいちゃんのプレゼントをお孫さんたちは気に入ってくれたのでしょうか？

- ・ 施工面積 : 27.1m² (7.5坪)
- ・ 工期 : 60日間
- ・ 基礎 : ベタ基礎
- ・ 屋根 : ガルパニウム鋼板
- ・ 外壁 : 珪藻土外毛引きアクリルリシン吹付塗装



建物は小さくとも基礎はベタ基礎



棟上



後姿も可愛いですね!

07にお孫さん
隠れています。

完成:室内はロフトを
設け、今は遊び場と
なっています。

完工検査に伺った日は二人の孫さんも居られましたが、カメラを向けると逃げられてしまいました。ブロンズ像の腕を持つK様自作のウッドデッキをお孫さんが嬉しそうに走り回る姿から、お孫さんは大満足に違いないと確信したのでした。(啓)

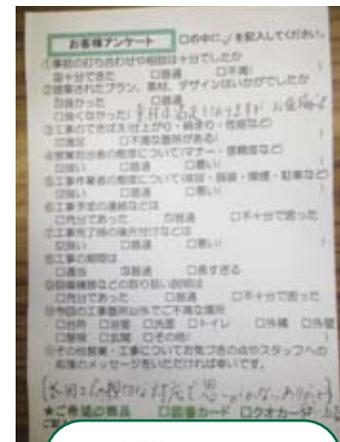
ゲイナンハウス 近況

みんなで良い仕事を! 協力業者会開催

毎年新年度を迎えると、いつも一緒に仕事をしていただいている協力業者の皆さんと一年を振り返り、より良い現場作りのためにどうしたら良いかを話し合う「協力業者会」を行っています。

今年も30名ほどの実際に現場で汗して働いている職人の皆さんに集まっていただき、施工後にお答えいただいている「お客様アンケート」を集計したグラフや、お客様からのコメントを紹介して、お客様がゲイナンハウスの仕事をどのように感じておられるかを報告しました。

普段、職人の皆さんは完成後にお客様のお宅に伺うことはありませんので、自分たちの仕事がどのように感じられているかは一番興味のあるところですので、皆さん熱心に聞いてくれますし、より良い現場作りの意見交換では時間をオーバーしてしまいました。様子などご覧下さい。



お客様アンケート

左の写真が、皆様から施工後送っていただいている「お客様アンケート」です。皆様のご協力のお蔭で、返信率も70%までUPし、たくさんのお客様のご意見を伺うことが出来ました。

日々送られてくるこのアンケートをワクワク・ドキドキで受け取らせていただいております、良いコメントがあるときには「皆頑張ってくれているなあ〜」と胸をなでおろし、そうでないアンケートを見た時には、目の前が真っ暗になったり(冗談です)と一喜一憂しております。

アンケートの項目やお伺いの仕方なども、まだまだ改善の余地があるかと思いますが、皆様からの評価やご意見を真摯に受け取り、一歩一歩改善して行きたいと思っておりますので、今後もアンケート返信の程よろしく願います。



竹内常務による現場でのマナーや養生などについての話です。特に、現場での挨拶、清掃片付けについては、毎回くどいようですが力を入れて話をしています。



グループディスカッションの様子。やはりテーマは「現場の養生と片付け」、特に養生についてたくさんの意見が噴出して、参加者の真剣さが伝わってきました。

年に一回開いている協力業者会ですが、社内からの意見では「キッチリと養生や清掃、お客様への挨拶などでできている協力業者を表彰したら」なんて意見も出てきています。10年前に比べれば格段に現場は改善されていると思いますが、もっともっと高めるための工夫をしなくてはいけませんね。この住まいの通信を読んでいただいている皆様からもご意見がございましたら河野までお電話お待ちしております。(啓)